

ちょっといい話 (No.1)

平成29年度

「ウーリークラブ」と「ウリソツクラブ」の合同開催での様子

国立吉備青少年自然の家

幼児を育てる家族を対象として平成25年度から「ウーリークラブ」を開始し、1年間の複数回の活動を終わると、継続を希望する家族が「ウリソツクラブ～ウーリークラブ卒業者の会～」に参加している。

第4回の活動は、「ウリソツクラブ」と「ウーリークラブ」の合同開催とし、「ウリソツ」と「ウーリー」の子供たちが一緒に活動して仲良くなるとともに、保護者同士も交流を深めている。子供たちの就寝指導をボランティアに任せて、夜に保護者の情報交換会を開き、ウリソツの保護者が「参加しての感想」や「ウリソツへの参加呼びかけ」を発表した。

保護者からの発表の中には、「ちょっと不便な生活が貴重な経験」や「吉備に来て大家族体験」など、吉備での生活に満足している発表があった。また、「自分の親以外に褒められて、着替えや片付けで自立の芽生え」や「恥ずかしがり屋だったが、友達に誘われて旗係に立候補」、「来るときは不安でも、帰りにはニコニコ」との子どもの成長や変化が発表された。

さらに、「子供の叱り方を学べる絶好の機会」や「他の親から自分の子供が褒められて安心できた」、「親も子供も親離れができた」と子育ての不安も解消できているようである。

みんなが口をそろえて「親が楽しんでいるから、子供も楽しい」と、吉備での自然体験や宿泊活動の楽しさを発表していた。

